



2017年3月
 あおぞら保育園
 あおぞら第2保育園
 あおぞら谷津保育園

日中の陽ざしが暖かくなりました。新学期に向けて、みんなで元気に過ごしたいですね！！

VPDを知って 子どもを守ろう

B型肝炎ワクチン 2016年10月 定期接種化
0歳の時に 計3回接種

VPDとは、Vaccine（ワクチン）Preventable（防げる）Diseases（病気）の略です。

VPDは、子どもたちの命にかかわる重大な病気。日本では、毎年多くの子どもたちが、ワクチンで予防できるはずのVPDに感染して、重い後遺症で苦しんだり、命を落としたりしています。世界中に数多くある感染症の中で、ワクチンで防げる病気（VPD）はわずかです。防げる病気だけでも予防して、大切な子どもたちの命を守りましょう。子どもたちがかかりやすいVPDには右のようなものがあります。

ワクチンで防げる主な病気		
● B型肝炎	● ポリオ	● インフルエンザ
● ロタウイルス感染症(胃腸炎)	● 結核	● ヒトパピローマウイルス感染症
● ヒブ感染症	● 麻疹(はしか)	● A型肝炎
● 肺炎球菌感染症	● 風しん	● 黄熱病
● ジフテリア	● おたふくかぜ	● 狂犬病
● 破傷風(はしょうふう)	● みずぼうそう	● 髄膜炎菌感染症
● 百日せき	● 日本脳炎	
● 日本で子どもがワクチンを接種できる病気		

あおぞらの入園・進級のしおりにも載っています。確認してくださいね。

子ども予防接種週間

3月1日から3月7日

4月からの進級に備えて、必要な予防接種を済ませ、病気を未然に防ぎましょう。予防接種は生後2か月からデビューです。MR（麻疹風しん混合）ワクチン〔第Ⅰ期（1歳代）、第Ⅱ期（小学校就学前の1年間）〕をまだ受けていない人は、ぜひこの機会に受けましょう。

～新学期にむけて～

4月になると子どもたちは、小学校入学・進級と新しい生活が始まります。新しい生活は、ワクワク・ドキドキで緊張したりいつもより疲れたり、体調を崩しやすくなります。

新学期を元気に過ごすために、生活リズムについて各ご家庭で見直してみてくださいね。

3月3日は「耳の日」



【 耳の役割 】

☆音を聞き、音の方向や遠近を聞き分ける ☆体のバランスを保つ（三半規管）
耳・鼻・喉は耳管（じかん）という「くだ」でつながっています。

乳幼児の耳管は、大人に比べて太く、短く、水平なので細菌が鼻の奥から中耳に入りやすく、中耳炎を起こしやすいのです。子どもの中耳炎のほとんどは、風邪によるものです。

注意したい耳の病気

【 おたふく（ムンプス）と難聴 】

今年はおたふくが流行しています。

おたふくが引き起こす難聴として、「ムンプス難聴」というものがあります。これはおたふくの合併症の一種で、一般的に片耳に重度の感音難聴が起こるものです。しかし、両方の耳で症状が見られることもあります。ムンプス難聴は一度なってしまうと治療が困難です。まだおたふくかぜの予防接種をしていない人は予防接種を受けておくことをおすすめします。

【 急性中耳炎 】

風邪などの時、耳管から菌が中耳に入り、炎症を起こす病気です。耳のあたりを押すと痛がったり、自分で触ったり、夜泣きや首を振るなどの症状が現れ、症状が進むと耳だれがでます。耳だれがでると痛みも熱もなくなります。病気が治ったわけではないので、必ず受診しましょう。

【 しん出性中耳炎 】

鼓膜の内側にしん出液がたまって起こります。鼻の奥から耳管にかけて炎症が起こり、鼓膜の働きが鈍くなるために聞こえにくくなります。耳の中が詰まったように感じたり、自分の声がひびくといった、はっきりしない難聴の症状が続きます。痛みや熱はなく、発見が遅れると症状はさらにひどくなり、治りにくくなります。子どもは自分から難聴に気づくことはありません。

周囲の大人が注意してあげ早めに発見し、受診するようにしましょう。



♪ 鼻の上手なかみかた 3ステップ ♪

- ① 片方の鼻を押さえましょう♪
- ② お口を閉じましょう♪
- ③ 片方ずつかむようにしましょう♪
その際「フン」だよ〜！と伝えましょう

あまり強くかみすぎないように注意しましょうね

よこはま市 横浜救急相談センター
平成28年6月1日(水)18時から24時間対応!

急な病気やけがで受診の相談をしたいときは…

シャープ # 7 1 1 9
(携帯電話、PHS、プッシュ回線の固定電話)

または ☎045-222-7119 (すべての電話でご利用いただけます)

看護婦がお答えします

☆医師の登園許可証明書及び保護者の登園届および、おたよりのバックナンバーは、

yokohama aozora

検索

または

社会福祉法人 あおぞら

検索